

世界最大の海運サービス会社が世界規模で IT ハードウェア フットプリントを 85% 削減

概要
顧客 • Inchcape Shipping Services
場所 • 英国エセックス州チャフォード ハンドレッド
業種 • ビジネス サービス
企業規模 • 従業員数 2,456 名 (全世界)
ビジネス上の課題 • 事業規模と収益を 5 年以内に 2 倍にする • 世界中の多くの事業所が、品質が安定しない地域の電気通信インフラストラクチャに直面している • 世界中のユーザのモビリティを高め、サービス提供を増やす
ネットワーク ソリューション • シスコ データセンター ネットワーク ソリューション • Cisco Wide Area Application Services (WAAS) • シスコ ユニファイド コミュニケーション システム
ビジネス上の利点 • 世界規模で IT ハードウェア フットプリントを 85% 削減 • 帯域幅の最適化の効果が 50% 向上 • 現地のインフラストラクチャが貧弱な地域のネットワーク パフォーマンスを改善 • 英国でホストされているアプリケーションにアクセスする世界中のユーザに LAN と同等のパフォーマンスを提供 • 企業の CO2 排出量削減に貢献

シスコのアプリケーション ネットワーキング サービス ソリューションが、英国でホストされているアプリケーションにアクセスする世界中の 200 以上のブランチ オフィスに、LAN (Local Area Network) と同等のパフォーマンスを提供し、WAN (Wide Area Network) 帯域幅の最適化効果を 50% 向上させます。

ビジネス上の課題

Inchcape Shipping Services (ISS) は、1847 年に創業され、東インド会社の船舶を支援しました。今日、ISS は世界最大の海運サービス プロバイダーであり、52 の国に 200 以上のオフィスがあります。船舶が到着すると、ISS は代行業者として、タグボートの手配、港湾使用の許可申請、港湾使用料徴収、燃料補給などのサービスを提供します。この会社は、船舶が港に到着するたびに、年間 58,000 以上の船舶を扱います。また、防衛、機械事業、貨物サービスなど、その他多くの輸送サービスも提供しています。Maersk、ExxonMobil、BP など、船舶を所有またはチャーターしている組織が代表的な顧客です。

ISS は、2010 年までに規模と収益を2倍にするという積極的なビジネス戦略を掲げています。ビジネスの成長をサポートするために、ISS は IT システムとインフラストラクチャを合理化する取

り組みに着手しました。また、大規模な複合港で作業するスタッフのモビリティを高めるなど、より多くのサービスとアプリケーションがビジネスにとって必要であるということも要因になりました。

ISS のグループ情報部長 Bryan Phillips 氏は、次のように述べています。「私たちはテクノロジーを利用して業務の遂行方法を改善し、ビジネスに価値を追加すると共に、港に位置するオフィスの構成および運用に対する大幅なコスト削減とリソース使用効率の向上を実現したいと考えました。それを行う唯一の現実的な方法は、ネットワークを最適化したうえで、IT サービスを統合すると同時に、エンドユーザの操作感は従来どおり維持し、パフォーマンスを強化するテクノロジーを利用することでした。」



ISS は世界中の多くの地域で営業していますが、開発途上国では常に高度な通信インフラストラクチャを利用できるとは限りません。1 秒あたり 128 キロビットという低帯域幅の場合もあります。ISS はスタッフが必要とする効率的なサポート システムを構築するために、これらの問題に対処する必要があります。

ISS はシスコのネットワーキング機器を長年使用しており、ネットワークを使用するシスコのデータセンター ネットワーキング戦略を採用することでネットワークの能力を拡大し、自社のグローバルなブランチ オフィスのビジネス構造をサポートできる機会を得ました。「ビジネスをグローバルに拡大し、簡単かつコスト効率よく展開できるネットワーキング ソリューションとサービスを使用して IT スタッフがその拡大をサポートしていくためには、ISS にとってシスコが最良の戦略的パートナーです」と Phillips 氏は話します。

「シスコは単にデータ トラフィックを最適化するのではなく、基盤となるネットワークを提供します。そのネットワークにシスコ データセンター テクノロジーや IP 音声ソリューションのような他の多くのビジネス サービスを展開できます。そのため、以前は考えられなかったような方法でインフラストラクチャの範囲と能力を拡大することができます。」

ネットワーク ソリューション

ISS はシスコ製品を利用した WAN (Wide Area Network) を導入しており、Cisco VPN (Virtual Private Network) を使用して本社とブランチ オフィスの Cisco LAN (Local Area Network) をこの WAN に接続しています。インフラストラクチャは完全に ISS 社内でも管理されています。WAN の中央に位置するのは、100 台のサーバと 3 テラバイトのデータを持つロンドンのデータセンターです。このデータセンターは英国北部の災害復旧サイトにつながっています。



ISS では、実質的にすべてのデータとアプリケーションをデータセンターに統合するプロセスを進めており、データの量はさらに 3 テラバイト増加する見込みです。メイン アプリケーションは YourISS です。世界中のスタッフがこのアプリケーションを使用して、顧客に提供するサービスを管理

します。たとえば、船舶の港湾オペレーションに関するすべての情報が YourISS に記録されます。港湾内での船舶の管理は多くが書類ベースであるため、スキャンしたドキュメントもデータに含まれます。YourISS は顧客がオンラインで使用することもでき、世界中どの場所でも船舶の航行状況をリアルタイムで追跡および監視することができます。顧客は港湾オペレーション中の船舶の状況を完全に把握でき、入港前から最後の請求まで、船舶関連の情報を確認できます。

ISS は、統合戦略をサポートおよび拡大するためのキーとしてシスコの Wide Area Application Services (WAAS) テクノロジーを使用しています。このテクノロジーによってネットワーク帯域幅を最適化し、アプリケーション、コンテンツ、およびデータを英国で集中管理しながら、世界中のブランチ オフィスで LAN と同等の速度を実現できます。Phillips 氏は次のように話します。「シスコのテクノロジーで私たちが気に入っている点は、インテリジェンスであることです。関連したデータをローカルにキャッシングしてアプリケーションまたはプロセスに使用するので、同じデータを何度も送信してネットワーク帯域幅を無駄に消費することがありません。このテクノロジーでは、アプリケーションのデータ パターンを学習するので、時間の経過と共にパフォーマンスは継続的に向上し始めます。

Cisco WAAS によって帯域幅の使用が最適化されたため、ISS では現在、追加のサービスを WAN に展開しようとしています。それは、英国のメイン オフィスで使用する 80 台の Cisco Unified IP phone と、ドバイ、チェンマイ、オスロのオフィスで使用する数百台の Cisco Unified IP phone で構成されるシスコ ユニファイド コミュニケーション システムです。シスコ ユニファイド コミュニケーションの主な利点の 1 つは、これまで IP テレフォニー サービスの導入が不可能でなくとも高コストであった場所にまで IP テレフォニー サービスを拡張できることです。

各事業所では、シスコのテクノロジーによってモビリティもサポートされるため、スタッフはワイヤレス機能の付いたノート PC を使用して、ミシシッピ デルタ地帯や北米のように複数のサイトがある広い場所を動き回ることができます。ISS のシスコ データセンター ソリューションは、Dimension Data によって実装されました。

ビジネス上の効果

「シンガポールに入港している船舶のブリッジにいる代理人が、GPRS 対応のノート PC を使用して、英国のデータセンターと数秒で情報を交換できます。その情報には社内の誰もがアクセスできる一方、重要なこととして、顧客もオンラインで接続して船舶や積荷に何が起きているかを確認できます。アプリケーションとデータは英国でホストされている場合がありますが、代理人にとっては自分のノート PC に保存されているのと同じように動作します。これが私たちのビジネスにとって Cisco WAAS が意味することです。」

シスコのアプリケーション ネットワーキング サービス ソリューションは ISS に対して根本的な影響を与えています。シスコのテクノロジーを導入し、分散したサーバやシステムを展開する必要性を減らすことで、ISS は世界中のブランチでハードウェアの台数が 85% 削減されると期待しています。これには、ISS の CO2 排出量削減に貢献するという利点もついできます。小規模オフィスでは、現在、複数のサーバと 1 台のルータを使用している場合があります。それがシスコによってルータ 1 台だけに減ります。

シスコはまた、CO2 排出量を削減することにより、ISS の「グリーン化」の実績にも貢献します。Phillips 氏は述べています。「私たちの戦略的な目標の 1 つは、世界各国で CO2 排出量を削減することであり、Cisco WAAS を使用してブランチ オフィス機器の必要台数を減らすことが、その戦略の重要な部分です。使用していたそれぞれのサーバが約 2 ~ 3 アンペアを消費していたと考え、全事業所数を乗算すると、非常に大きなエネルギー消費量の削減になります。」

さらに、ISS は帯域幅の最適化効果が 50% 向上すると予測しています。Phillips 氏は述べています。「東アフリカのジブチは、シスコのテクノロジーによって実際に違いが生まれた典型的な例です。ビジネスの観点からは、ジブチは急速に成長しており、現在 75 名のスタッフが配置されています。しかし、インターネット接続には制約があります。64 Kbps (キロビット/秒) の接続しか利用できなかった時期があり、現在でも 256 Kbps にしかすぎません。しかし、Cisco WAAS を使用することで、帯域幅をはるかに有効に利用でき、明らかなトラフィックの減少という大きな成果も見られるようになって、帯域幅の最適化効果は 50% 程度向上しています。」

製品一覧
ルーティングおよびスイッチング <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Catalyst スイッチ
VPN <ul style="list-style-type: none"> • Cisco IPSec VPN
アプリケーション ネットワーキング <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Wide Area Application Services (WAAS) • Cisco Wide Area Application Engine (WAE) アプライアンス
音声および IP コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> • シスコ ユニファイド コミュニケーション • Call Manager バージョン 5.0 • Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ

成長しており、現在 75 名のスタッフが配置されています。しかし、インターネット接続には制約があります。64 Kbps (キロビット/秒) の接続しか利用できなかった時期があり、現在でも 256 Kbps にしかすぎません。しかし、Cisco WAAS を使用することで、帯域幅をはるかに有効に利用でき、明らかなトラフィックの減少という大きな成果も見られるようになって、帯域幅の最適化効果は 50% 程度向上しています。」

Cisco WAAS がビジネスに与える影響のもう 1 つの例として、コラボレーションを強化し、時間とコストを節約できることがあります。「販売入札があった場合、北米の誰かがその入札を処理して E メールで中東に送信し、次に中東で処理をして他の誰かに E メールで送信するのではなく、全員が共同作業できるポータルを提供できれば効果的です。それを行う最適な方法は、すべての関連情報を中央に集中させて統合し、Cisco WAAS によって高速化された Web ベースのアプリケーションを使用してその情報にアクセスすることです。この場合、データが数千マイルも離れた所にあるとは、誰も気が付きません。」

ISS がシスコを戦略的パートナーとして捉える理由の 1 つにシスコのデータセンター テクノロジーから得られるメリットが挙げられます。ISS はシスコのテクノロジーを利用して、世界中のほぼどこにでも、すばやく簡単に新しいオフィスを構えることができます。「私たちが行う必要があるのは、事業所に 1 台の Cisco ルータを設置することだけであり、そうすれば必要なすべてのサービスの大部分が提供されます。また、リモートでメンテナンスを行うといったこともできます。サイトに IT スタッフがいない事業所もあるため、これは不可欠です。」



「シンガポールに入港している貨物船のブリッジにいる代理人が、GPRS 対応のノート PC を使用して、英国のデータセンターと数秒で情報を交換できます。その情報には社内の誰もがアクセスできる一方、重要なこととして、顧客もオンラインで接続して船舶や積荷に何が起きているかを確認できます。アプリケーションとデータは英国でホストされている場合がありますが、代理人にとっては自分のノート PC に保存されているのと同じように動作します。これが私たちのビジネスにとって Cisco WAAS が意味することです。」

Inchcape Shipping Services、グループ情報部長、Bryan Phillips 氏

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
 〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
 お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター
 0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS 含む)
 電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

お問い合わせ先